

2002

H13

第10回 あマ指国家試験

(あマ指10) 医療概論

1～2

あ10-1 QOLの意味はどれか。

1. 生活の質
2. 説明と同意
3. 父権主義
4. 患者の権利

あ10-2 国民医療費の増大を抑制する対策はどれか。

1. 医療従事者の増加
2. 予防医学の推進
3. 医療保険の「出来高払い方式」の推進
4. 長期入院治療の推進

(あマ指10) 衛生学公衆衛生学

3～11

あ10-3 一次予防はどれか。

1. 胃がん検診
2. 食事療法
3. 麻疹予防接種
4. 在宅ケア

あ10-4 生活習慣病の予防対策で正しい組合せはどれか。

1. 肺 癌 ————— 適度な運動
2. 脳出血 ————— 感染防止
3. 虚血性心疾患 ————— 禁 煙
4. 糖尿病 ————— 減 塩

あ10-5 我が国の最近の傾向でないのはどれか。

1. 粗死亡率の増加
2. 独り暮らし老人の増加
3. 少子高齢化
4. 慢性疾患の減少

あ10-6 平均寿命について誤っている記述はどれか。

1. 0歳平均余命のことである。
2. 我が国では男性より女性の方が長い。
3. 我が国の男性は80歳を超えている。
4. 我が国は世界有数の長寿国である。

あ 10-7 物理的環境が主な病因となる疾患はどれか。

1. 悪性新生物
2. 熱中症
3. エイズ
4. 水俣病

あ 10-8 人工照明の望ましい条件はどれか。

1. 光の性質が昼光に近い。
2. ちらつきがある。
3. まぶしさがある。
4. 照度は高いほど良い。

あ 10-9 ウイルスの消毒に効果のないのはどれか。

1. 高圧蒸気
2. 消毒用エタノール
3. オキシドール
4. エチレンオキシドガス

あ 10-10 施術者の罹患で施術対象者が感染する可能性が最も高い疾患はどれか。

1. 結核
2. A型肝炎
3. 梅毒
4. 日本脳炎

あ 10-11 職業病と発生要因との組合せで正しいのはどれか。

1. 職業性難聴 ————— 放射線
2. 頸肩腕症候群 ————— VDT作業
3. じん肺 ————— 有機溶剤
4. 腰痛症 ————— 金属ミスト

(あマ指 10) 関係法規

12～15

あ 10-12 地方公共団体が制定する法令はどれか。

1. 条約
2. 法律
3. 政令
4. 条例

あ 10-13 身体障害者福祉法に定める福祉措置はどれか。

1. 育成医療
2. 更生医療
3. 養育医療
4. 老人医療

あ 10-14 あん摩マッサージ指圧師の免許取消しに該当しないのはどれか。

1. 自発的意志による申請の場合
2. 厚生労働大臣の職権による場合
3. 失踪を宣告された場合
4. 重篤な疾患に罹患した場合

あ 10-15 あん摩マッサージ指圧師免許証の再交付について正しいのはどれか。

1. 申請書を知事に提出する。
2. 再交付の理由は不要である。
3. 手数料は不要である。
4. 失った免許証を発見したときはこれを返納しなければならない。

(あマ指 10) 解剖学	16~38
--------------	-------

あ 10-16 筋組織で横線が見られるのはどれか。

1. 大腿二頭筋
2. 子宮筋
3. 幽門括約筋
4. 心筋

あ 10-17 外胚葉に由来するのはどれか。

1. 肝臓
2. 心臓
3. 喉頭
4. 脊髄

あ 10-18 三角筋胸筋溝を通過する血管はどれか。

1. 腋窩静脈
2. 上腕静脈
3. 尺側皮静脈
4. 橈側皮静脈

あ 10-19 鼠径靭帯と関係ないのはどれか。

1. 上前腸骨棘
2. 坐骨結節
3. 血管裂孔
4. 筋裂孔

あ 10-20 体表から触れる骨について誤っている記述はどれか。【解答 2つ】

1. 舌骨体は前頸部で触れる。
2. 尺骨頭は肘部で触れる。
3. 上後腸骨棘は腰部で触れる。
4. 大腿骨の内側顆は膝部で触れる。

あ 10-21 骨の特徴で誤っている記述はどれか。

1. 側頭骨には下顎窩がある。
2. 仙骨には耳状面がある。
3. 大腿骨には粗線がある。
4. 脛骨には外果がある。

あ 10-22 距腿関節を構成しないのはどれか。

1. 脛 骨
2. 腓 骨
3. 距 骨
4. 踵 骨

あ 10-23 椎骨の棘突起に付着しない筋はどれか。

1. 肩甲挙筋
2. 頭板状筋
3. 広背筋
4. 大菱形筋

あ 10-24 筋とその付着部との組合せで誤っているのはどれか。

1. 胸鎖乳突筋 —— 乳様突起
2. 小胸筋 —— 小結節
3. 中殿筋 —— 大転子
4. ヒラメ筋 —— 踵骨隆起

あ 10-25 肘関節の運動で上腕筋と拮抗する筋はどれか。

1. 上腕二頭筋
2. 上腕三頭筋
3. 腕橈骨筋
4. 烏口腕筋

あ 10-26 口腔について誤っている記述はどれか。

1. 歯根膜はセメント質の周囲にある。
2. 口腔粘膜上皮は重層扁平上皮である。
3. 軟口蓋は口蓋の前方にある。
4. 舌筋の一部は下顎骨から起こる。

あ 10-27 大腸にみられないのはどれか。

1. 半月ヒダ
2. 結腸ヒモ
3. 腸絨毛
4. 腹膜垂

あ 10-28 誤っている記述はどれか。

1. 鼻粘膜嗅部は鼻腔上部にある。
2. 耳管は咽頭鼻部に開く。
3. 鼻涙管は上鼻道に開く。
4. 上顎洞は中鼻道に開く。

あ 10-29 泌尿器について誤っている記述はどれか。

1. 腎乳頭は腎臓髄質にある。
2. 尿管は前立腺を貫く。
3. 膀胱括約筋は平滑筋である。
4. 尿道括約筋は横紋筋である。

あ 10-30 精巣の精細管の外に存在する細胞はどれか。

1. セルトリ細胞
2. 精祖細胞
3. 精子細胞
4. 間細胞

あ 10-31 副腎について正しい記述はどれか。

1. ランゲルハンス島を有する。
2. 腎臓の内部に散在する。
3. 皮質と髄質とがある。
4. リンパ性器官である。

あ 10-32 脳底部に血液を送り込む血管はどれか。

1. 眼動脈
2. 後頭動脈
3. 顔面動脈
4. 内頸動脈

あ 10-33 洞房結節の存在する部位はどれか。

1. 上大静脈の開口部付近
2. 大動脈弁の直下
3. 心室中隔の上部
4. 心房中隔の上部

あ 10-34 体表から拍動の触れない動脈はどれか。

1. 大腿動脈
2. 膝窩動脈
3. 腓骨動脈
4. 足背動脈

あ 10-35 顔面の感覚に關与する脳神経はどれか。

1. 滑車神経
2. 三叉神経
3. 顔面神経
4. 副神経

あ 10-36 頸神経叢から分枝する神経はどれか。

1. 横隔神経
2. 腋窩神経
3. 正中神経
4. 橈骨神経

あ 10-37 視床下部が存在する部位はどれか。

1. 大 脳
2. 中 脳
3. 小 脳
4. 間 脳

あ 10-38 眼球に入る光の量を調節しているのはどれか。

1. 角 膜
2. 虹 彩
3. 脈絡膜
4. 硝子体

(あマ指 10) 生理学

39～57

あ 10-39 物質の移動に際して化学エネルギーが必要なのはどれか。

1. 拡 散
2. 浸 透
3. 能動輸送
4. ろ 過

あ 10-40 免疫グロブリンを産生するのはどれか。

1. B細胞
2. マクロファージ
3. T細胞
4. 好中球

あ 10-41 血液凝固に關与しないのはどれか。

1. トロンボプラスチン
2. プロトロンビン
3. プラスミン
4. カルシウムイオン

あ 10-42 血圧上昇時にみられる圧受容器反射で誤っているのはどれか。

1. 心拍数の低下
2. 心収縮力の増大
3. 血管の拡張
4. カテコールアミン分泌の低下

あ 10-43 心筋について誤っている記述はどれか。

1. 固有心筋と特殊心筋に大別される。
2. 正常時の収縮は強縮である。
3. 自律神経の二重支配を受ける。
4. 機能的合胞体である。

あ 10-44 健康成人の安静時呼吸で1回に出入りする空気の量はどれか。

1. 0.5 リットル
2. 1 リットル
3. 2 リットル
4. 4 リットル

あ 10-45 胃腺の細胞とその分泌物との組合せで誤っているのはどれか。

1. 主細胞 ————— セクレチン
2. 壁細胞 ————— 塩 酸
3. 内分泌細胞 —— ガストリン
4. 粘液細胞 ————— ムチン

あ 10-46 栄養素のうちエネルギー源にならないのはどれか。

1. 無機質
2. 脂 質
3. 糖 質
4. 蛋白質

あ 10-47 健康成人において腎臓の糸球体でろ過されないのはどれか。

1. ブドウ糖
2. アミノ酸
3. クレアチニン
4. 蛋白質

あ 10-48 ホルモンとその働きとの組合せで誤っているのはどれか。

1. インスリン ————— 血糖調節
2. コルチゾール ————— カルシウム調節
3. パゾプレッシン —— 尿量調節
4. サイロキシン ————— 代謝亢進

あ 10-49 生殖について誤っている記述はどれか。

1. 排卵後の卵子の寿命は約1日である。
2. 受精は子宮内膜で行われる。
3. オキシトシン分泌によって子宮収縮が増強される。
4. 授乳中は排卵が抑制される。

あ 10-50 活動電位について誤っている記述はどれか。

1. 活動電位はスパイク電位とも呼ばれる。
2. オーバーシュートは過分極時に現れる。
3. 全か無かの法則に従う。
4. 膜電位の正方向への変化は脱分極と呼ばれる。

あ 10-51 C線維について正しいのはどれか。

1. 伝導速度が速い。
2. 跳躍伝導をする。
3. 自律神経節後線維でもある。
4. 温度覚は伝えない。

あ 10-52 交感神経活動に対する効果器の反応で誤っているのはどれか。

1. 瞳孔括約筋の収縮
2. 気管支筋の弛緩
3. 腸管平滑筋の弛緩
4. 立毛筋の収縮

あ 10-53 小脳の機能として誤っているのはどれか。

1. 協調運動の調節
2. 身体の平衡保持
3. 熟練した運動の記憶
4. 情動行動の発現

あ 10-54 延髄に反射中枢がないのはどれか。

1. 呼吸
2. 循環
3. 排尿
4. 嘔吐

あ 10-55 骨格筋の収縮について誤っている記述はどれか。

1. エネルギー源はATPである。
2. カルシウムイオンが必要である。
3. 活動電位は筋収縮と同時に起こる。
4. 単収縮より強縮の方が発生する張力は大きい。

あ 10-56 交叉性伸展反射について誤っているのはどれか。

1. 痛み刺激で起こる。
2. 刺激肢に屈曲反射が起こる。
3. 反対肢に伸展反射が起こる。
4. 単シナプス性反射である。

あ 10-57 視床内側膝状体で中継される感覚はどれか。

1. 皮膚感覚
2. 視覚
3. 聴覚
4. 味覚

(あマ指 10) 病理学

58～64

あ 10-58 加齢に伴い増加するのはどれか。

1. 血清アルブミン
2. エストロゲン
3. コレステロール
4. アルドステロン

あ 10-59 小児発疹性疾患で病原体がいまだ特定されていないのはどれか。

1. 風疹
2. 水痘
3. 手足口病
4. 川崎病

あ 10-60 栓子の発生原因と、それによって起こる塞栓症の発生部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 大腿静脈血栓 ————— 肝臓
2. 腹部大動脈瘤内血 —— 栓足指
3. 下肢複雑骨折 ————— 肺
4. 潜水病 ————— 脳

あ 10-61 急性炎症の全身症状として適切でないのはどれか。

1. 発熱
2. 血圧上昇
3. CRP上昇
4. 好中球増多

あ 10-62 ツベルクリン反応に直接関与しないのはどれか。

1. Tリンパ球
2. マクロファージ
3. 免疫グロブリン
4. 結核菌体成分

あ 10-63 移植までの保存可能時間が最も長い臓器はどれか。

1. 心 臓
2. 肺
3. 肝 臓
4. 腎 臓

あ 10-64 次の小児の悪性腫瘍で最も頻度の高いのはどれか。

1. 髄芽腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 腎芽腫

(あマ指 10) 臨床医学総論

65～75

あ 10-65 視野狭窄を起こさない疾患はどれか。

1. 網膜色素変性症
2. 白内障
3. 緑内障
4. 網膜剥離

あ 10-66 発疹の種類で原発疹はどれか。

1. 鱗 屑
2. 色素斑
3. びらん
4. 膿 瘍

あ 10-67 浮腫が起こりにくい部位はどれか。

1. 下 腿
2. 足 背
3. 手 掌
4. 眼の周囲

あ 10-68 手根管症候群の診断に用いられるのはどれか。

1. アドソンテスト
2. アレンテスト
3. ファレンテスト
4. ライトテスト

あ 10-69 デルマトームに一致した感覚障害を示すのはどれか。

1. 脳卒中
2. 頸椎椎間板ヘルニア
3. 糖尿病性ニューロパチー
4. ギラン・バレー症候群

あ 10-70 疾患と検査との組合せで適切でないのはどれか。

1. アルツハイマー病 ————— 髄液検査
2. 多発神経炎 ————— 筋電図
3. 脳腫瘍 ————— MR I
4. てんかん ————— 脳波

あ 10-71 動悸がみられないのはどれか。

1. 低血糖
2. 褐色細胞腫
3. 脚気
4. 甲状腺機能低下症

あ 10-72 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. ジフテリア ————— アフタ性潰瘍
2. 百日咳 ————— コプリック斑
3. 猩紅熱 ————— いちご舌
4. 麻疹 ————— 咽頭偽膜形成

あ 10-73 骨折の症状でないのはどれか。

1. 局所の疼痛
2. 異常可動性
3. あつれき音
4. ばね様固定

あ 10-74 打診音はどれか。

1. 清音
2. グル音
3. ラ音
4. 捻髪音

あ 10-75 徐脈をきたすのはどれか。

1. 完全房室ブロック
2. 期外収縮
3. 奇脈
4. 交互脈

あ 10-76 外傷性脱臼で起こらないのはどれか。

1. 疼痛
2. 腫脹
3. 変形
4. 脂肪塞栓

あ 10-77 肺気腫でみられない所見はどれか。

1. ビール樽状胸郭
2. 打診で鼓音
3. 呼吸音減弱
4. 触診で皮下気腫

あ 10-78 膠原病で認められない所見はどれか。

1. 結合組織のフィブリノイド変性
2. 関節症状出現
3. 血中自己抗体出現
4. 血中補体化上昇

あ 10-79 加齢による変化で男女差がみられるのはどれか。

1. 聴力
2. 筋力
3. 骨塩量
4. 肝血流量

あ 10-80 顔面痛の原因となるのはどれか。

1. 水痘ウイルス
2. 麻疹ウイルス
3. 風疹ウイルス
4. エコーウイルス

あ 10-81 閃輝暗点がみられるのはどれか。

1. 片頭痛
2. 緊張型頭痛
3. 牽引性頭痛
4. 心因性頭痛

あ 10-82 皮質性感覚失語を示す脳梗塞に関係する血管はどれか。

1. 椎骨動脈
2. 後大脳動脈
3. 中大脳動脈
4. 前大脳動脈

あ 10-83 躁病の症状はどれか。

1. 悲哀感
2. 微小妄想
3. 思考制止
4. 早朝覚醒

あ 10-84 血液疾患で誤っている組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ————— スプーン様爪変形
2. 悪性貧血 ————— ビタミンB₂欠乏
3. 再生不良性貧血 ————— 末梢血汎血球減少
4. 紫斑病 ————— 血小板異常

あ 10-85 循環器疾患の主要症状で誤っている組合せはどれか。

1. 心臓喘息 ————— 泡沫性血痕
2. 狭心症 ————— 胸骨下絞扼感
3. 左心不全 ————— 肝腫大
4. 右心不全 ————— 静脈怒張

あ 10-86 血管疾患で誤っている組合せはどれか。

1. 閉塞性血栓血管炎 ————— 阻血性潰瘍
2. 大動脈炎症候群 ————— 下肢血圧低下
3. 静脈血栓症 ————— 浮腫
4. レイノー病 ————— 皮膚温上昇

あ 10-87 バセトウ病でみられるのはどれか。

1. 微熱
2. 低血圧
3. 巨大舌
4. 体重増加

あ 10-88 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝硬変 ————— 羽ばたき振戦
2. 胆嚢ポリープ ————— 筋性防御
3. 慢性脾炎 ————— 腹壁静脈怒張
4. 慢性糸球体腎炎 ————— グル音消失

あ 10-89 副甲状腺機能亢進症でみられないのはどれか。

1. 尿路結石
2. テタニー
3. 病的骨折
4. 高カルシウム血症

あ 10-90 関節リウマチに認めにくい症状はどれか。

1. 遠位指節間関節炎
2. 骨萎縮
3. 関節強直
4. 朝のこわばり

あ 10-91 腰椎椎間板ヘルニアで正しい記述はどれか。

1. 高齢者に好発する。
2. 好発部位はL4-L5間である。
3. バビンスキー反射が出現する。
4. 背筋の緊張が低下する。

あ 10-92 いわゆる五十肩で誤っているのはどれか。

1. 退行変性である。
2. 外転、外旋制限が強い。
3. 包帯で固定する。
4. 予後は良い。

あ 10-93 子宮筋腫で誤っているのはどれか。

1. 不正出血
2. 下腹部痛
3. 閉経後に好発
4. 不妊

あ 10-94 心肺蘇生法の適応でない状態はどれか。

1. 昏睡
2. ショック
3. 心停止
4. 無呼吸

問題 95 心筋梗塞の3大危険因子に入らないのはどれか。

1. 高血圧
2. 喫煙
3. 高脂血症
4. 痛風

あ 10-96 老人に特徴的な肺炎はどれか。

1. カリニ肺炎
2. 嚥下性肺炎
3. 気管支肺炎
4. マイコプラズマ肺炎

あ 10-97 運動障害について誤っている組合せはどれか。

1. 錐体路障害 ————— 痙性麻痺
2. 錐体外路障害 ————— 不随意運動
3. 脊髄損傷 ————— 固縮
4. 末梢神経損傷 ————— 弛緩性麻痺

あ 10-98 肩関節の運動方向で誤っているのはどれか。

1. 伸 展
2. 外 転
3. 内 旋
4. 外 反

あ 10-99 医療ソーシャルワーカーが行うのはどれか。

1. 社会資源を紹介し活用する。
2. 障害児への特殊教育を行う。
3. 職業的リハビリテーションを行う。
4. 応用動作訓練を行う。

あ 10-100 立位時に生理的にみられないのはどれか。

1. 頸椎前弯
2. 腰椎後弯
3. 膝関節外反
4. 足のアーチ

あ 10-101 脳卒中患者の杖歩行で誤っている記述はどれか。

1. 杖は健側で持つ。
2. 杖の次に健側下肢を前に出す。
3. 初期は4支点杖が安全である。
4. 上達すると揃え型から前型になる。

あ 10-102 脳卒中患者の二次合併症はどれか。

1. 言語障害
2. 運動麻痺
3. 関節拘縮
4. 排泄障害

あ 10-103 関節リウマチの自助具として適切でないのはどれか。

1. 柄の短い歯ブラシ
2. 握りの太いスプーン
3. 柄の直角なフォーク
4. てこを応用した蛇口ひねり

あ 10-104 骨折について誤っている記述はどれか。【解答2つ】

1. 介達牽引は皮膚に絆創膏を巻きつけ、その上から牽引する。
2. 直達牽引は骨に鋼線を刺入して牽引する。
3. ギプス固定中も等尺性筋力強化を行う。
4. 関節可動域訓練は骨癒合が完成してから行う。

あ 10-105 頸髄損傷のリハビリテーションで誤っている記述はどれか。

1. C₄損傷では電動車椅子を用いる。
2. C₄損傷ではプッシュアップが可能となる。
3. C₆損傷では寝返りが可能となる。
4. C₆損傷では坐位保持が可能となる。

あ 10-106 腰痛の治療で適切でない記述はどれか。

1. 急性期には間歇牽引を行う。
2. 持続牽引は6～8kgの重錘で行う。
3. 温熱療法は筋肉のスパズムを除く効果がある。
4. 運動療法は腹筋の強化を行う。

(あマ指10) 東洋医学概論

107～116

あ 10-107 東洋医学の用語についての記述で誤っているのはどれか。

1. 臓とは中腔臓器のことである。
2. 虚とは正気の不足した状態である。
3. 証とは治療方針を示した症状群である。
4. 実の体質とは一般に体力のある人である。

あ 10-108 五行色体で精神状態を診るのはどれか。

1. 五 悪
2. 五 志
3. 五 横
4. 五 主

あ 10-109 「名のみありて、形なし」と記されている臓腑はどれか。

1. 三 焦
2. 大 腸
3. 肺
4. 脾

あ 10-110 五臓と五悪との組合せで正しいのはどれか。

1. 心 — 湿
2. 脾 — 暑
3. 肺 — 風
4. 腎 — 寒

あ 10-111 五臓とその機能との組合せで誤っているのはどれか。

1. 肝 — 統 血
2. 脾 — 運 化
3. 肺 — 宣 散
4. 腎 — 納 氣

あ 10-112 先天の原気を宿すのはどれか。

1. 肝
2. 心
3. 肺
4. 腎

あ 10-113 実痛はどれか。

1. 温めると痛みは和らぐ。
2. 押えると気持ちが良い。
3. 冷やすと心地良い。
4. 痛みは鈍く持続性である。

あ 10-114 問診で診るのはどれか。

1. 脈 状
2. 声の変化
3. 排泄物の色
4. 悪寒発熱

あ 10-115 五臓の腹診で肺の臓を診る部位はどれか。

1. 臍の左
2. 臍の右
3. 臍の上
4. 臍の下

あ 10-116 問診で診るのはどれか。

1. 顔色が赤い。
2. 声に張りがある。
3. 甘いものを好む。
4. 脈が速い。

(あマ指 10) 経絡経穴概論

117～124

あ 10-117 身柱穴より上方にある経穴はどれか。

1. 膏 盲
2. 隔 兪
3. 大 椎
4. 心 兪

あ 10-118 上腕内側を走行する経絡はどれか。

1. 心包経
2. 三焦経
3. 大腸経
4. 小腸経

あ 10-119 大腿後面の中央にある経穴はどれか。

1. 承 扶
2. 梁 丘
3. 殷 門
4. 血 海

あ 10-120 尺骨動脈拍動部にある経穴はどれか。

1. 大 陵
2. 太 淵
3. 陽 池
4. 神 門

あ 10-121 後頭部を通る経絡はどれか。

1. 胃 経
2. 小腸経
3. 膀胱経
4. 大腸経

あ 10-122 胸部にある経穴はどれか。

1. 中 腕
2. 関 元
3. 中 府
4. 巨 闕

あ 10-123 原穴はどれか。

1. 太 衝
2. 陽陵泉
3. 三陰交
4. 公 孫

あ 10-124 手関節に最も近い経穴はどれか。

1. 温 溜
2. 内 関
3. 孔 最
4. 尺 沢

あ 10-125 神経痛で出現する圧痛点に行う手技として最も適切なのはどれか。

1. 指蹠軽擦法
2. 母指按捏法
3. 母指圧迫法
4. 指頭叩打法

あ 10-126 高齢者の筋収縮性頭痛に対する頸部の運動法について適切でないのはどれか。

1. 頸部の可動範囲で行う。
2. 回旋させるときは頭部を両手で支えて行う。
3. 反動をつけて行う。
4. 肩背部の施術後に行う。

あ 10-127 三叉神経第3枝痛に対し、罹患局所への施術部位として適切なのはどれか。

1. 前頭切痕部
2. 眼窩上孔部
3. 眼窩下孔部
4. オトガイ孔部

あ 10-128 末梢性顔面神経麻痺の罹患筋への局所施術で対象とならないのはどれか。

1. 前頭筋
2. 側頭筋
3. 眼輪筋
4. 口輪筋

あ 10-129 肩こりの施術対象になる筋と局所治療穴との組合せで正しいのはどれか。

1. 僧帽筋 — 肩 井
2. 肩甲挙筋 — 風 池
3. 棘下筋 — 膏 肓
4. 棘上筋 — 心 兪

あ 10-130 理学的検査所見と罹患局所への施術部位との組合せで適切なのはどれか。

1. ヤーガソンテスト陽性 — 頸 部
2. マクマレーテスト陽性 — 上腕部
3. ラセーグテスト陽性 — 腰 部
4. アレンテスト陽性 — 膝 部

あ 10-131 次の文で示す患者の病態に対し、施術対象となる経絡はどれか。

「50歳の男性。主訴は上肢痛。2か月前から頸部の後屈時に示指に放散痛が出現するようになった。」

1. 心 経
2. 心包経
3. 大腸経
4. 三焦経

あ 10-132 下垂手に対する施術法として適切でないのはどれか。【解答2つ】

1. 橈骨神経の走行に沿って施術を行う。
2. 前腕前側の筋に施術を行う。
3. 手指の他動運動を行う。
4. 手関節を屈曲位で固定する。

あ 10-133 下垂足に対し、罹患筋への局所施術で対象となるのはどれか。

1. 前脛骨筋
2. 長母指屈筋
3. 腓腹筋
4. 足底筋

あ 10-134 大転子から大腿外側にかけて痛みを訴える患者で施術対象となる経絡はどれか。

1. 膀胱経
2. 胆 経
3. 肝 経
4. 腎 経

あ 10-135 変形性膝関節症で起こる筋萎縮に対し、最も強化すべき筋はどれか。

1. 大腿四頭筋
2. 大腿二頭筋
3. 前脛骨筋
4. 下腿三頭筋

あ 10-136 次の文で示す患者の病態に対し、施術対象となる経絡はどれか。

「60歳の女性。腰が重だるい。下腹部と下腿に冷えがある。」

1. 肺 経
2. 肝 経
3. 脾 経
4. 腎 経

あ 10-137 スポーツ障害とその施術対象になる躍息衝との組合せで誤っているのはどれか。

1. ジャンパー膝 — 大腿四頭筋
2. テニス肘 — 短橈側手根伸筋
3. シンスプリント — 上腕二頭筋
4. アキレス腱炎 — 下腿三頭筋

あ 10-138 胸痛に対する施術で適応性が最も高いのはどれか。

1. ワレー圧痛点を伴うもの
2. 帯状疱疹を伴うもの
3. 左上肢への放散痛を伴うもの
4. 呼吸困難を伴うもの

あ 10-139 次の文で示す患者の病態への対応で適切でないのはどれか。

「50歳の男性。約10年前から便秘が続き、4、5日に1回太く長い便が出る。」

1. 繊維成分に富む食事をとらせる。
2. 腹部に冷温交代圧注法を行う。
3. 腹部に反時計回りの施術を行う。
4. 仰臥位で下肢の挙上運動を行わせる。

あ 10-140 高齢者への対応で誤っている記述はどれか。

1. 脊柱の変形には徒手矯正法を行う。
2. 施術の刺激量は少なくする。
3. 施術前後にバイタルサインを確認する。
4. 施術は患者の楽な体位で行う。

(あマ指 10) あん摩マッサージ指圧理論

141～150

あ 10-141 あん摩の手技とその作用との組合せで誤っているのはどれか。【解答 2つ】

1. 軽擦法 — そう快感を与える。
2. 揉捏法 — 筋の疲労を回復させる。
3. 間歇圧迫法 — 筋の機能を高める。
4. 叩打法 — 関節可動域を拡大する。

あ 10-142 古法あん摩の腹診で「腹全体に力なく皮膚がざらつく。」のはどれか。

1. 食痞の腹
2. 癩聚の腹
3. 血塊の腹
4. 虚人の腹

あ 10-143 マッサージの基本手技で用いないのはどれか。

1. 揉捏法
2. 叩打法
3. 強擦法
4. 振せん法

あ 10-144 強擦法について誤っているのはどれか。

1. 筋力を増強する。
2. 関節部に応用する。
3. 軽擦法と揉捏法との複合手技である。
4. 制限された関節可動域を改善する。

あ 10-145 僧帽筋に対する手技で適切でないのはどれか。

1. 手掌軽擦法
2. きりもみ状揉捏法
3. 突手
4. 合掌打法

あ 10-146 手技による消化管機能の亢進作用で適切でないのはどれか。

1. 蠕動運動の亢進
2. 交感神経活動の亢進
3. 消化酵素の分泌増加
4. 栄養の吸収促進

あ 10-147 結合織マッサージについて誤っている記述はどれか。

1. 創始者はディッケである。
2. 手技により皮膚に波状のしわが現れる。
3. 基本手技は二指揉捏法である。
4. 皮下結合組織に牽引刺激を与える。

あ 10-148 手技の治療的作用と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 興奮作用 — 知覚鈍麻
2. 鎮静作用 — 神経痛
3. 反射作用 — 便秘
4. 矯正作用 — 関節の腫脹

あ 10-149 筋力1で行う運動法はどれか。

1. 他動運動法
2. 自動介助運動法
3. 自動運動法
4. 抵抗運動法

あ 10-150 サイバネティックスの語源はどれか。

1. 制御と通信
2. 恒常性
3. 閉回路
4. 舵取り